

第 90 回メーデー宣言

わたし達は本日「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義の日本をめざそう」のスローガンを掲げ、職場環境の改善、市民生活の向上、安心して暮らせる街づくりのため、職場や地域からの闘いを強めることをめざして、ここに集いました。

労働者の実質賃金は減り続け、年金も引き下げが続いています。一方で、税金や社会保険料の負担は増大し、消費税率の引き上げも目前に迫っています。さらに、地域格差や教育機会の不平等が顕在化し、社会的格差が固定化する方向にあります。現在、政府がすすめる「働き方改革」や「入管法の改正」は労働条件に直結する制度改革にも関わらず、その議論は生煮えで拙速と言うほかありません。今一度、わたし達は人間らしい生活を守り、職場環境の改善と雇用の充実をめざして、声を上げる必要があります。

東日本大震災から 8 年を経過した今日でも、約 5 万人の被災者が不自由な避難生活を強いられています。福島第一原発では過酷な労働環境の下、廃炉に向けた作業が進められていますが、増え続ける汚染水対策などの課題が依然として残されています。東日本大震災からの復興と原発に依存しない持続可能なエネルギーや社会の実現をめざし、住民本位の復興を支援するとともに、東海第二原発の再稼働に反対します。

貧困や差別が火種となって、世界中で戦争が起きています。わたし達国民、労働者は、第二次世界大戦という大きな犠牲を払って獲得した日本国憲法と民主主義を守り、住民の意思を尊重する社会、核兵器のない平和な世界の実現をめざします。

私たち働くものの団結で、これらの困難を乗り越え、希望のもてる社会を次世代につなぐことを、ここに宣言します。

2019 年 4 月 27 日